



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン：経済状況（8月25～27日付現地報道）

1. 証券取引所内の為替レート（26日付ドンヤーイエ・エグテサーディー紙）

国家開発基金のナザーリ理事は、将来証券取引所内で扱われる為替レートについて、現在の市場レートに近いものになると予測した。その上で、証券取引所内の為替レートに関しては、重要と供給の管理が相場の動向に重要な役割を担うことになる」と述べている。「取引所で為替レートを扱うことにより、為替レートは現実的かつ明確な価格となり、不必要な輸入は避けることができる（あるいは、公定レート以外によって扱われる）であろう」と加えた。

2. 中央銀行による主要流動性指数の公表（26日付ドンヤーイエ・エグテサーディー紙）

イラン中央銀行（CBI）は、過去5年間の春季（3～5月）主要流動性指数（流動性増加率、乗数増加率、マネタリーベース増加率）を新たに公表した。イラン暦昨年度〔1390年（2011年3月21日～2012年3月19日）〕との比較では、流動性増加率が7%増、乗数増加率が5%増、マネタリーベース増加率が4.7%増となっている（注：乗数とは、国民所得の拡大額÷有効需要の増加率、を表す。マネタリーベースとは、現金通貨と中央銀行への民間金融機関の預け金の合計、を表す）。

3. 産業経営者協会による構造改革の訴え（25日付ドンヤーイエ・エグテサーディー紙）

産業経営者協会は、報告書の中で、憲法44条（国内の経済活動に関する条項）に基づく事業規則を変更し、産業界の構造改革を行うよう訴えた。寡占状態の悪用、再販価格の制限、不法取引、情報・社会的地位の悪用、政府の差別的待遇等による競争原理の阻害が主な要点である。

4. 銀行の産業界向け資金提供シェア（27日付シャルグ紙）

銀行の産業界向け資金提供シェアは全体の32%を占めると、イラン中央銀行（CBI）のバフマーニー総裁が発言した。この事実を踏まえれば、産業界の収入および生産効率は向上すべきであり、産業界への銀行システムの提供は無意味であると述べた。イラン商工鉱会議所のメンバーはこれに対して、「CBIからの資金提供シェアは現実味を帯びておらず、産業界との緊密な関係を有していない。産業界におけるキャッシュフローは最も深刻な問題である」と反論している。